

パース日本祭り決起集会における挨拶(2月9日)

パース日本祭りまであと1ヶ月余りとなり、その決起集会を「和盆連」の練習会を兼ねて開催させていただきます。

最初にひとこと御礼を申し上げます。家内晴美とともに2月27日に離任することとなりました。2年5ヶ月の間、岸田総理パース訪問からはじまり、州首相の2回の訪日、ANA直行便の再開と日本への関心は高まり、そして今年は日豪経済会議が17年ぶりにパースで開催される年となりました。

コロナ禍があけて、人の交流が広がる前向きな時期と重なり、日本とオーストラリアの架け橋として人的な絆を大切にされている皆様に大きなサポートを頂き、楽しみながら一緒に人の和を広げることができました。

楽しく充実した日々を過ごすことができ、生涯を通じて最も前向きで意義深い日々であったと思います。家内ともども心より御礼を申し上げます。

おかげさまで昨年の豪州からの訪日者は92万人を越えました。2023年の61万人から50%増、コロナ前をはるかに越える記録です。日本の対豪投資も昨年も堅調で、学生、スポーツ、姉妹都市交流も活発化しています。そして今年は、日豪会議経済会議のパース開催もあり、日本と西豪州の関係の重要性に特に注目される年になります。6月5日には FIFA ワールドカップ予選の日豪対決がパースが行われます。

そんな中で、3月15日のパース日本祭りは大変楽しみな状況となっています。今年は昨年夏の甲子園で準優勝した関東一校のチアリーダー「バービーズ」が、日本祭りで世界大会でも優勝したパフォーマンスを見せてくれます。更に、昨年2回パース公演を行い、YouTubeでも2000万の視聴数がある「東京グループ女子」のバンドも出演します。パース日本祭りは今やブランドとなりつつあり、昨年の鹿児島芸能に続き、今年も素晴らしいラインアップとなっています。

残念ながら総領事館でより、もうひとり、大きな貢献をされた原副領事も3月8日にネパールに転勤することとなりました。関東一校の創立100周年記念事業としてバービーズをはじめとする高校生達50名が派遣されますが、原と奥様の舞夫人がいなければ到底実現できませんでした奥様は、関東一校の新作の制服のモデルをされたこともあり、その制服は関東一校に勤務されたお母さまがデザインをされたという特別な縁があるご家族です。その中心人物である原夫妻も日本祭りに出席できないのは誠に残念です。

今年の日本祭りには、総領事館より長谷川首席領事が総領事代行として出席させて頂き、2月1日に着任した廣嶋絵梨領事が、原の後任として日本祭り事務局とのインターフェイスをつとめますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。本

日は是非、長谷川さんと廣嶋さんにパース音頭を習得してもらいますので、パース由来の振付を教えてください。そして、今年も楽しそうな夏祭りの空間に飛び入り参加するオーギー達の和が果てしなく広がる景色が見られることを願っています。

「和盆連」の皆様、いつも笑顔の盆踊りで日本の魅力を伝えて頂き本当にありがとうございます。2週間で本当に「パース音頭」を作り上げてしまう地元愛の深さと架け橋魂の強さはもはやパースの伝説です。藤音彦さん作詞、林せつ子さん作曲、マッカーサー千里さん振付、そして三枝さんが歌い、日本祭りのゲスト只野のり子さんの三味線、亜也さんが太鼓をたたく「パース音頭」はレコード化され、昨年に日本に逆上陸し、10月の鹿児島おはら祭りでも紹介されました。レガシーをさら伝え、友好の輪(和・WA)を広げていって頂ければと思います。昨年、部長のギール明子さんのもとの「和盆連」と命名され、ロゴやうちわもあつたえ、いまパースでは盆踊りがブームになりつつあります。

なお、本日はブルームから山田智子さんが参加頂いております。ブルームは日本人にとり特別な土地であり、1890年頃から大変なご苦労をしながらも真珠採取でブルームに移住し、2つの祖国の架け橋となっていた日本人の想いを、山田さんは現地で今もつないで頂いている特別な芸術家です。真珠祭りやブルーム日本人墓地の共同清掃活動でも大変お世話になりました。今後ともパースの日本人社会にもインスピレーションを共有頂ければ嬉しく思います。

そして日本祭り実行委員会の皆様、年々拡大する日本祭りの企画と調整誠にありがとうございます。パース日本祭りの特別な盛り上がりは、実行委員会の皆様が100近くの異なる団体・店舗を相手に粘り強い調整を頂いているおかげであり、心より感謝申し上げます。最も大変な副会長の谷口美友幾さんは学生時代に野球部マネジャーをされていたとかがいい、主人公達の良さを引き出す力量に納得がいきました。本当にありがとうございます。是非、関東一校の皆さんによる、日本の高校の熱い部活の魅力を炸裂させてあげてください。

太鼓音のサイモンさん、AJSWA、日本クラブ、虹の会、日本人会、ひなたカフェともえさん等、個別の感謝の気持ちは枚挙にいとまがありません。筑紫舞の亀井南央さんもパースに戻って来て頂きましてありがとうございました。

今年も日本祭りはきっと炎天下で大変かと思いますが、かいた汗の分だけ日本と西豪州の距離が着実に近くなったと実感できる達成感、勝利の美酒を味わって頂ければと思います。海を越え南アとネパールからも応援をさせていただきます。

それでは、第11回のパース日本祭りの成功に向け氣勢を上げたいと思います。

パース日本祭り頑張るぞ エイエイオー！

(了)